

九州女子大学  
人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻

令和2年度 社会人入学試験 I期  
編入学試験 I期  
社会人編入学試験 I期

小論文

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻

社会人入学試験Ⅰ期

令和二年度 編 入 学 試 験Ⅰ期 小論文 試験問題

社会人編入学試験Ⅰ期

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

エジソンだって熱中した時は相当の時間発明に没頭したとされるし、私のような落ち着きのない人間でも本当に面白い本なら集中して読める。原稿にしてものっている時はかなりの時間書き続けられる。

勉強だと三十分で嫌になるが、インターネットなら二、三時間は続くとか、マンガなら時間を忘れるということもあるだろう。

逆にいうと、勉強が苦痛なくどれだけ長時間続けられるかは、自分がどれだけその勉強を楽しんでいるかのバロメーターともいえる。

どうしてもある資格が取りたいとか、仕事上どうしてもある分野についてエキスパートになりたいとかいう風に必要に迫られる場合ではなく、いわゆる頭がよくなりたいから勉強したいとか、何か一つ取り柄を作りたいという場合は、このような興味をもてるもの、楽しめるものを勉強すべきだと私は考えている。

楽しめる勉強だと前述のように、勉強が苦痛ではないし、また長時間続けることが容易になる。その上、興味のあること、関心のあることだと注意を保ちやすいので記憶しやすいし、知識化しやすいのである。関心のあることだと覚えられるというのは、たとえばサッカーフリークが舌を噛むようなアルゼンチンの選手の名前を覚えられたり、ワイン好きがワインの名前やビンテージや産地まで覚えられるのを見ればよくわかるだろう。そして、ワイン好きやクラシックのファンを見ればわかるように、この興味あることの記憶はかなり高齢になっても保たれるのだ。

つまり、楽しめること興味のあることだと、知識化が容易な上、一日に何時間も勉強を続けられるので、習熟は非常に早い。あつという間に人が驚くほどの知識を身につけ、それについて一家言もってしまうこともある。

出典 和田秀樹『大人の勉強法 パワーアップ編』、PHP研究所、二〇〇一年

問一 本文の要旨を五〇字以内で述べなさい。

問二 「学びにおけるやる気」について、あなたの考えを六〇〇字以内で述べなさい。

九州女子大学 人間科学部 人間発達学科 人間基礎学専攻

社会人入学試験Ⅰ期

令和二年度 編入学試験Ⅰ期 小論文 解答用紙

社会人編入学試験Ⅰ期

縦書き

問一

5

10

15

20

25

受験番号

氏名

得点

問二

600

500

400

300

200

100

50

